

第2回えひめ記録会での新型コロナウイルスへの対応について

一般財団法人 愛媛陸上競技協会

所属の責任者は下記の内容について参加選手・参加選手保護者または観覧を希望する方に対して、周知徹底してください。

○参加選手

1 体温について

①2日間（大会前日及び大会当日）連続で体温が37.0度を超える場合は参加できません。

②大会当日の朝、はじめて37.0度を超えた場合についても参加を見送ってください。

※参加料については返金いたします。ただし、各所属の参加申込者から申込先担当者へ連絡すること。

2 発熱以外にも咳やのどの痛み等の症状があり、体調が悪い場合についても参加を見送ってください。

3 マスクの着用を必ずお願いします。特に下記の場所・状況においては注意すること。

招集所、参加受付時、着替え時、会話時等

（なお、競技中、ウォーミングアップ中は着けなくてもよい。）

※招集所には必ずマスクをつけて来てください。

4 こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施をお願いします。

※石けんや消毒等については各チームで必ず準備してください。

5 競技に参加する際は、各自で手洗い・消毒を済ませた後、招集所へ来ること。また、競技終了後、ただちに各自、手洗い・消毒を行うこと。

6 観客席や控え場所において、観客や選手同士との距離を2m以上確保してください。

7 応援は周囲と間隔をとり、密にならないように気を付ける。**大声を出しての応援、連呼など集団で集まっての応援は禁止とする。**

8 個人・またはチーム内で出たごみは各自自宅へ持ち帰ること。

9 記録の掲示については、競技終了後、大型映像で表示します。競技場メインスタンド下、正面玄関付近での記録掲示は行いません。なお、記録速報を愛媛陸協HPから確認できます。

○大会の観覧について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、今回の大会については、参加選手の保護者関係者のみとします。一般の方の観覧は、ご遠慮願います。
保護者関係者につきましても、極力来場はお控えください。

来場する際は、9月26日（土）は8：30から、9月27日（日）は9時からメインスタンド南側2階入り口に入場申請書を提出してから観覧すること。※時間より前の入場はご遠慮ください。

※陸協HP「入場申請書」をダウンロードし、当日持参してください。また入場申請書が無い場合はメインスタンド南側2階入り口にて「入場申請書」の記入・提出をお願いします。

なお、入場後は参加選手と同様の対応をお願いします。

※申請書は1日一枚、提出になります。

※本協会は競技会に参加するすべての方々（競技者・チーム関係者・競技運営関係者等）の新型コロナウイルス感染に対するいかなる責任も負いません。

競技注意事項

本大会は、2020年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項によって行う。

1 練習について

練習は、補助競技場および雨天練習場（使用方法について下記参照）を原則とする。投てき競技（円盤投・ハンマー投・やり投）の練習については、多目的広場を使用する。砲丸投の練習は、係員の指示に従って補助競技場内トラック外側の砲丸投ピットのみで行う使用の際は係員の指示によって行う。

補助競技場の使用について

レーンの使用については以下の通りである。

- ・1～2レーンは周回練習のみ使用可とする。
- ・3～4レーンは短距離練習のみ使用可とする。
- ・ブロックを使用してのスタート練習は多目的広場側直走路5～10レーンのみとする。
- ・多目的広場側直走路7・8レーンは女子100mH、9・10レーンは男子110Hとする。
- ・第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路の5レーンは女子400mH、6レーンは男子400mHとする。

雨天練習場の使用について

- ①雨天練習場でのピストルの使用は禁止する。
- ②雨天練習場へは、第2ゲート側の入り口より入場することができる。第3ゲートからの出入りは禁止する。
- ③シート等を敷いて独占的な使用をすることを絶対にしない。
- ④ウォーキング・ジョギングなどペースが著しく遅いウォーミングアップまたは、動きづくり程度の練習は行ってもよい。それ以外は、補助競技場で行うこと。
- ⑤ウォーキング・ジョギング等は、左回りとし、逆走はしない。
- ⑥ハードルは使用できない。

棒高跳について

競技開始60分前から現地にて跳躍練習を行うことができる。ただし、審判員の指示に従うこと。

2 スパイクシューズ等の制限について

- ①競技で使用するスパイク及びシューズについて招集所にて点検します。規定外シューズについてはリザルトに注記する。その場合も公認記録となる。
- ②全天候競技場であるため、スパイクの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳は12mm以下とする。
※陸協HP掲載（日本陸連HP：WA規則第143条（TR5：シューズ）のルール再改定について）資料を確認してください。

3 アスリートビブス（ナンバーカード）について

- ・アスリートビブス（ナンバーカード）は指定された数字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸と背につけること。ただし、跳躍競技（走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳）に出場する選手はどちらか一方でもよい。
- ・トラック競技に出場する選手は、主催者が準備した腰ナンバー標識を必ずパンツの右左横や後方につけること。

- ・3000m以上の種目は、別ナンバーカードを使用する。別ナンバーカードは招集所にて配布する。
- ・男女混合リレーの2走・3走は別ナンバーカードを使用する。

4 選手招集について

- ① 選手招集場所は、**第2ゲート付近**とする。
- ② 招集時刻は下記のとおりとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック種目	競技開始30分前	競技開始20分前
フィールド種目（下記以外）	競技開始40分前	競技開始30分前
フィールド種目 男女 走幅跳 （※小学生は除く）	競技開始60分前	競技開始50分前
フィールド種目（棒高跳）	競技開始70分前	競技開始60分前

※1：棒高跳は、現地で招集を行う。

※2：参加人数の多い種目については、段階的に招集を行うので、競技時間に記載している招集開始時刻、招集完了時刻を確認すること。

- ③ 招集完了時刻に遅れた選手は棄権とみなす。
- ④ 2種目を同時に兼ねて出場する選手は、あらかじめ競技者係に申し出る。

5 競技について

- ① 競技順は、プログラム記載の番号順とする。
- ② その競技をする選手以外は、トラックおよびフィールド内に立ち入ることはできない。
- ③ トラック競技のスタートについては、下記のとおりとする。
「不正スタートについては、各レースでの不正スタートは1回目からすべて失格とする。」
- ④ スターターの合図は英語とする。（「On your marks」、「Set」）
- ⑤ 3000m以上の種目はグループスタートとする。
- ⑥ 短距離走では選手の安全のため、決勝線到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- ⑥ トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の左側の番号で表す。
- ⑦ トラック競技において、同記録者がでた場合は、写真判定により写真を拡大し細部（電気時計1/1000）まで読み取り着差の判定をする。
- ⑧ レーンで行う競技種目で棄権者があった場合は、そのレーンをあける。
- ⑨ 競技場内での跳躍、投てきの練習は、審判員の指示によって行う。
- ⑩ フィールド種目については試技3回とする。
- ⑪ 携帯電話等の通信機器・ビデオ・デジタルカメラ等を競技場内に持ち込むことはできない。コーチエリアからのコーチの持つ映像を見せることはできる。ただし、選手が機器等を手に持って画像を確認することはできない。
- ⑫ フィールド競技における競技中の選手への水分の差し入れについては、競技該当審判員を通じて選手に手渡すことができる。
- ⑬ 走高跳の最初の高さは、男子：1m50、女子：1m20
棒高跳の最初の高さは、男子：2m20、女子：1m80からとする。
- ⑭ 走高跳・棒高跳のバーの上げ方については、下記の通りである。

		練習									以降
走高跳	男子	145	150	155	160	165	170	175	180	185	3cm刻み
	女子	115	120	125	130	135	140	145	150	153	3cm刻み
棒高跳	男子	200	220	240	260	280	300	320	340	350	10cm刻み
	女子	170	180	190	200	210	220	230	240	250	10cm刻み

※棒高跳の練習については、出場選手と相談のうえ、競技中に公式練習を行うようにする。

⑮三段跳の踏み切り板の位置について、男子：11m00、女子9m00とする。

6 競技用具について

- ① 競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使わなければならない。ただし、やりは検査において合格したものに限り使用が認められる。個人所有のポールの検査は最終点呼時に跳躍審判が行い、やりの検定は競技開始60分前に招集所にて実施する
- ② 練習用としても、個人の用具を競技場に持ち込んではいない。

7 競技場への入退場について

種目別入退場口は下記の通りとする。各ゲートへは競技場外周を利用して移動すること。

第1ゲート：第1コーナー付近からスタートするトラック競技

第2ゲート：1500mおよび棒高跳・投てき競技

第3ゲート：第3コーナー付近からスタートするトラック競技および走高跳

第4ゲート：100m付近からスタートするトラック競技および走幅跳、三段跳

※選手の競技場への入退場は、必ず審判員の指示によって行う。

8 その他

- ① やむを得ず棄権するときは、競技者係まで必ず届け出ること。
- ② 応急処置を要する健康上の問題が発生した時は、スタンド下の救護室に連絡すること。
- ③ 更衣室は正面玄関に入って左側にあるので利用してもよい。ただし、貴重品の管理は各自の責任で行うこと。
- ④ 記録の掲示については、競技終了後、大型映像で表示します。競技場メインスタンド下、正面玄関付近での記録掲示は行いません。なお、記録速報を愛媛陸協HPから確認できます。

○競技会で使用される主な略号について

日本語表記	略号
欠場	DNS
途中棄権	DNF
記録なし	NM
失格	DQ
標準記録突破による通過者 または順位による通過者	Q
記録による通過者	q
愛媛県新県記録（愛媛県タイ記録）	PR（=PR）
愛媛県高校新記録（愛媛県高校タイ記録）	PHR（=PHR）
愛媛県中学新記録（愛媛県中学タイ記録）	PJR（=PJ）
大会記録	NGR